

JIS K 5970 建物用床塗料認証品

認証番号 JP0309002 (ユータッククリーンEプライマーNo1、ユータッククリーンEプライマーNo2、ユータッククリーンE厚膜)

F☆☆☆☆(ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

ユータッククリーンEシリーズ

●エポキシ樹脂無溶剤形・厚膜タイプ(2液)

ユータッククリーンE厚膜

環境 環境対応 タイプ	厚膜 厚膜タイプ	薄膜 薄膜タイプ	弾性 弾性タイプ	静電気 静電気帯電 防止用	水性 水性形 タイプ	速硬化 速硬化 タイプ
防食 防食性	耐熱 耐熱性	防滑 防滑性 (工法により)	防塵 防塵性	AS アスコン面 施工可能	舗装材 カラー 舗装材	抗菌 抗菌タイプ

●エポキシ樹脂溶剤形・薄膜タイプ(2液)

ユータッククリーンE GL

環境 環境対応 タイプ	厚膜 厚膜タイプ	薄膜 薄膜タイプ	弾性 弾性タイプ	静電気 静電気帯電 防止用	水性 水性形 タイプ	速硬化 速硬化 タイプ
防食 防食性	耐熱 耐熱性	防滑 防滑性 (工法により)	防塵 防塵性	AS アスコン面 施工可能	舗装材 カラー 舗装材	抗菌 抗菌タイプ

「ユータッククリーンEシリーズ」は耐摩耗性、耐薬品性に優れたエポキシ樹脂をベースに、特殊導電材料を組み合わせた静電気帯電防止用塗り床材です

静電気が原因となるトラブルは半導体、コンピューターなどのエレクトロニクス産業や化学工業をはじめ、さまざまな分野で問題になっています。エレクトロニクス産業では汚染や静電破壊、誤動作、最悪の場合には静電気放電によるスパークからの火災、爆発の危険性もあります。また、印刷工場では紙の巻き込みなどが起こり、生産効率低下などのトラブルも発生しています。

「ユータッククリーンEシリーズ」はこれらの半導体組立工場や製薬工場、危険物取扱所、印刷工場、プラスチック成型工場、コンピューターールーム、クリーンルームなどでの静電気トラブルを防ぎます。さらに、病院の手術室や麻酔室においての静電気放電によるスパークからの火災や爆発の危険も未然に防止します。

特長

- ①静電気帯電防止効果に優れています。
- ②静電気帯電電位の減衰性能に優れています。
- ③耐摩耗性、耐薬品性に優れています。さらに、耐薬品性試験後も静電気帯電防止機能を維持します。
- ④継ぎ目のないシームレスな仕上りを形成します。
- ⑤厚膜、薄膜の両タイプがあり、用途に応じてお選びいただけます。

主な用途

●=おすすめできる場所
○=使用可能な場所

【ユータッククリーンE厚膜】

- 製薬工場
- 機械・部品組立工場・整備工場
- 弱電工場・精密工場
- 手術室
- 研究施設・実験室
- 印刷工場 ○化学薬品工場・メッキ工場

【ユータッククリーンE GL】

- 弱電工場・精密工場
- 印刷工場 ○製薬工場
- 機械・部品組立工場・整備工場
- 化学薬品工場・メッキ工場
- 手術室
- 研究施設・実験室

荷姿

- ユータックECプライマー……
16kgセット (A液：12kg B液：4kg)
4kgセット (A液：3kg B液：1kg)
- ユータックプライマーECO……
10kgセット (A液：7.5kg B液：2.5kg)
- NT水性速乾プライマー……
12kgセット (A液：3kg B液：9kg)
4kgセット (A液：1kg B液：3kg)
- クリーンE水性導電添加剤……5kg
- ユータッククリーンEプライマーNo.1……
16kgセット (A液：12kg B液：4kg)
4kgセット (A液：3kg B液：1kg)
- ユータッククリーンEプライマーNo.2……
16kgセット (A液：12kg B液：4kg)
4kgセット (A液：3kg B液：1kg)
- ユータッククリーンE厚膜……
15kgセット (A液：12.5kg B液：2.5kg)
- ユータッククリーンE GL……
16kgセット (A液：12kg B液：4kg)
- ユータックE素地調整材ECOグレー……
17.5kgセット (A液：15kg B液：2.5kg)
- 導電テープ……50mm×20m

色彩

標準色
7~13色

①=ユータッククリーンE GL適用 ②=ユータッククリーンE厚膜適用



- 印刷のため、実際の仕上りとは相違があります。ご了承ください。また、クリーンEは実際には半艶色となります。
- ライン用については最寄りの営業所へお問い合わせください。

■ユータッククリーンEシリーズ関連各製品 希釈剤・希釈率・施工間隔(23°C)

製品名	希釈剤	希釈率	施工間隔
ユータッククリーンEプライマー№1	無希釈*	—	12時間以上24時間以内
ユータッククリーンEプライマー№2	無希釈*	—	12時間以上24時間以内
NT水性速乾プライマー	無希釈	—	6時間以上48時間以内
ユータックECプライマー	ユータックEシンナー	0~15%	3時間以上72時間以内
ユータックプライマーECO	無希釈	—	12時間以上72時間以内
ユータッククリーンE厚膜	無希釈	—	歩行可能…12時間以上 養生………48時間以上
ユータッククリーンE GL	ユータックEシンナー	0~10%	6時間以上72時間以内 歩行可能…12時間以上 養生………48時間以上
ユータックE素地調整材ECOグレー	無希釈	—	12時間以上72時間以内

※希釈については、最寄りの営業所までお問い合わせください。

試験成績

●耐薬品性については「耐薬品性能一覧」をご参照ください。なお、数値は代表値であり、保証値ではありません。

■ユータッククリーンE厚膜

試験項目	試験結果	試験法
硬度	81	JIS K 6253 硬度計 D
引張接着強さ	2.45N/mm ² (素地破壊)	JIS A 5536
表面抵抗率	10 ⁴ ~10 ⁸ Ω	JIS K 6911
漏洩抵抗値	10 ⁴ ~10 ⁸ Ω	労働安全衛生総合研究所技術指針(静電気安全指針2007)
すべり抵抗性*1	0.94 (乾燥面)	日本塗理床工業会試験法/C.S.R. (すべり抵抗係数)
	0.92 (湿潤面)	
すべり抵抗性*2	100 (乾燥面)	BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)
	25 (湿潤面)	
難燃性(酸素指数)	26以上	JIS K 7201

*1 すべり抵抗性の数値は2ページの「C.S.R.値とすべりの程度の関係」をご参照ください。

*2 すべり抵抗性の数値は2ページの「BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)とすべり程度の関係」をご参照ください。

■ユータッククリーンE GL

試験項目	試験結果	試験法
硬度	2H	JIS K 5600 鉛筆硬度
付着性	25/25	JIS K 5600準拠 すきま間隔5mm
表面抵抗率	10 ⁴ ~10 ⁸ Ω	JIS K 6911
漏洩抵抗値	10 ⁴ ~10 ⁸ Ω	労働安全衛生総合研究所技術指針(静電気安全指針2007)
すべり抵抗性*1	0.72 (乾燥面)	日本塗理床工業会試験法/C.S.R. (すべり抵抗係数)
	0.68 (湿潤面)	
すべり抵抗性*2	110 (乾燥面)	BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)
	20 (湿潤面)	

*1 すべり抵抗性の数値は2ページの「C.S.R.値とすべりの程度の関係」をご参照ください。

*2 すべり抵抗性の数値は2ページの「BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)とすべり程度の関係」をご参照ください。

静電気帯電について

静電気帯電の状況は、床面や壁面の材質や条件による抵抗値によってさまざまに変化します。その抵抗値と静電気帯電の対応の関係を表①に示します。また、「ユータッククリーンEシリーズ」による静電気帯電防止対策が必要な主

な場所は表②のとおりです。

表①のとおり、漏洩抵抗値が10⁸Ω以下では静電気はほとんど帯電しません。ただし、低電圧では感電の危険性があるため、漏洩抵抗値は10⁴Ω以上であることが必要とされており、適切な漏洩抵抗値範囲は10⁴~10⁸Ωとなります。ユータッククリーンEシリ

ズは床面の漏洩抵抗値を、この理想的な範囲に保ちます。

表②に示された用途では静電気対策のほか、耐水性や耐薬品性、耐摩耗性も要求されます。また、経年後も適切な抵抗値を保たなければなりません。ユータッククリーンEシリーズは、これらの適用条件で性能を保ちます。

●表①/漏洩抵抗値と静電気帯電の関係

漏洩抵抗値	帯電の状況
10 ⁸ Ω以下	帯電しない
10 ⁶ Ω~10 ⁸ Ω以下	ほとんど帯電しない
10 ⁴ Ω~10 ⁶ Ω以下	帯電する
10 ¹¹ Ω以上	非常に大きく帯電する

●表②/静電気帯電防止対策の必要な場所

用途	静電気対策が必要な理由	適切な抵抗値
危険物取扱場所、病院の手術室・麻酔室、塗装工場	●静電気放電スパークによる火災・爆発防止 ●粉塵、病原菌などの付着・拡散防止	10 ⁷ Ω以下
電子部品工場、クリーンルーム、コンピュータールーム	●静電気放電による半導体の静電破壊 ●粉塵の付着・拡散防止	10 ⁷ Ω以下
フィルム・紙などを扱う場所	●紙、フィルムなどの巻き込みによる生産効率低下	10 ⁹ Ω以下

ニットクの塗り床材

ユータックシリーズ

帯電防止タイプ

【改訂第5版】

JIS K 5970 建物用床塗料認証品

■認証番号 JP0309002

●ユータッククリーンE厚膜 ●ユータッククリーンEプライマーNo.1 ●ユータッククリーンEプライマーNo.2

●エポキシ樹脂無溶剤形・厚膜タイプ(2液)

ユータッククリーンE厚膜

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

●エポキシ樹脂溶剤形・薄膜タイプ(2液)

ユータッククリーンE GL

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

ユータック素地調整仕様

理想的な表面仕上げを行うためには、確実な素地状況の確認と素地調整が必要です。下地の状況(強度・乾燥状態・表層状態・仕上精度・構造)によっては、塗り床材としての本来の性能が発揮されない場合があります。

素地

- ①素地のモルタル、コンクリートは金ゴテで平滑に仕上げてください。
- ②コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。
 - 表面強度……1.5N/mm²以上
 - 圧縮強度……21N/mm²以上
- ③打設後の養生は充分に行ってください。
 - コンクリート……夏期(打設後3週間以上)、冬期(打設後4週間以上)
 - モルタル……夏期(打設後2週間以上)、冬期(打設後3週間以上)(ケット科学水分計 HI-500または520-2 コンクリートレンジの表示値が5%以下)
※デッキプレートなどに打設した場合は乾燥が遅れますので、さらに乾燥養生が必要となります。
- ④コンクリート、モルタルの下から、水や湿気が上昇するような構造の場合は防湿層が必要となります。

素地調整

- ①表面は凹凸のないよう平滑にしてください。
- ②表面のレイトンスは研削機(ライナックスなど)やポリッシャーなどの研磨機で除去してください。
- ③素地の欠損部は施工に適した素地調整材を用いて平滑にしてください。
- ④素地の油脂やゴミ、ほこりなどは完全に除去してください。
- ⑤素地の吸い込みが激しい場合はプライマーを十分に浸透させ、目止めになるように塗布してください。
- ⑥素地の水濡れ、屋外での雨天時の施工は塗膜のフクレ、剥離、硬化不良の原因となりますので絶対に避けてください。
- ⑦水を使用する箇所では水勾配をコンクリート、モルタルなどで取ってください。

●レイトンスとは……

コンクリートの骨材中の泥やセメントに含む粘土が浮き水で上昇し、乾燥固化した粉状の層であり、皮スキなどでこすると簡単に取れます。このレイトンス層は塗料との付着性を阻害し、剥離を起こす要因となります。



強化コンクリート・緻密コンクリート・アスコン(アスファルトコンクリート)

■強化コンクリート

着色された鉋物系コンクリート(カラーコンクリート)は非常に強度があり、表面が緻密なコンクリートです。これらの強化コンクリートは塗料を吸い込みにくく、付着性が悪く簡単に剥離する可能性があります。そのため、物理的に付着性を向上させる必要があり、研削機(ライナックスなど)やブラストなどで表層を研磨し、表面を粗面にする必要があります。

■緻密コンクリート

コンクリート打設時に機械押さえ処理を行った場合やコンクリートへの水の配合比が少ない場合などは、下地の表面が緻密になる傾向があります。その場合、コンクリート表面に艶が生じ、上記と同様に塗料が吸い込みにくく、塗料の付着が弱くなるため、研削機(ライナックスなど)やブラストなどで表層を研磨し、表面を粗面にする必要があります。

■アスコン(アスファルトコンクリート)

※塗り床材の種類・用途により、施工可能なものと不可能な場合があります。詳細は最寄りの営業所までお問い合わせください。

●素地

- ①アスコンは密粒アスコンとし、凹凸のないように均一に打設してください。
- ②アスコン施工時の転圧は充分に行い、強度のある下地を形成してください。
- ③新規打設の場合は1週間以上の養生期間をとるようにしてください。
- ④アスコン転圧時の油分が付着または残っていないようにしてください。
- ⑤降雨などにより、下地の水分が多い場合は十分に乾燥させてください。

●素地調整

- ①泥などの汚れ、異物が付着している場合は、すべて除去後に表面を清掃してください。
- ②5mm以上の段違いがある場合は、あらかじめ補修してください(別途に費用が必要となります)。

ユータック改修下地調整仕様

改修下地の品質

項目	品質	不具合の可能性
素地表面強度	1.5N/mm ² 以上(建研式接着力試験機)	剥離、フクレ
素地圧縮強度	21N/mm ² 以上	凹み
既存塗膜の付着強度	1.0N/mm ² 以上(建研式接着力試験機) ^{※1}	剥離
素地含水率	5%以下(ケット科学水分計HI-500またはHI-520-2のコンクリートレンジ)	剥離、フクレ、発泡
表面状態	油分など付着阻害物質が除去されていること	剥離、フクレ、ハジキ、しわ

※1：既存塗膜の付着強度は、改修材料、使用目的により基準は異なります。
また、塗り重ねを行う塗り床材との組み合わせにより、既存塗膜の撤去が条件となる場合があります。

改修下地調整方法

■強化コンクリート素地

- カラーコンクリート……………コンクリート一体型の着色がされている。
- 金属系コンクリート一体型工法……………コンクリート表面に金属フレークが見える。
- 表面強化剤……………表面に光沢があり、水分がしみ込まない平滑な床面
研削機(ライナックスなど)やブラストによる研磨が必要となり、プライマーの付着試験が必要です。

■湿潤面

送風機や換気扇などにより通風を良くし自然乾燥を行ってください。工期の制約がある場合、ジェットヒーターやバーナーなどで強制乾燥を行ってください。素地の脆弱層は研磨を行ってください。
*水分を使わない場所で、素地の濡れ色や既存塗膜裏面に湿潤が確認された場合は、施主、元請と協議を行い防湿層、水路の確認を行ってください。

■油潤面

固化した油分をケレン除去した後、動植物油はアルカリ性洗剤や専用薬剤で、機械油は中性洗剤や専用薬剤でそれぞれ除去してください。素地に染み込んでいる場合は、はつり機で含浸層を撤去してください。
*素地の脆弱化が進行しているため、健全な層まで研削を行ってください。

■ひび割れ

ひび割れに沿ってUまたはVカットを行ったのち、樹脂モルタルや樹脂パテで埋め戻しを行ってください。微細なひび割れは、樹脂パテで埋め戻しを行ってください。
*動きのあるひび割れや深いひび割れ箇所は、露出仕上げとしてシーリング材などで仕上げを行ってください。

■ワックス塗布

ユータックEシンナーなどを既存塗膜面に少量たらし、指でシンナーがなくなるまでラビングを行ってください。シンナーが完全乾燥したのち、ラビングした外周が白くなった場合、ワックスが塗布されています。
*ワックスリムーバーなどを用いワックスを除去したのち、研削機(ライナックスなど)やポリリッシャーによる目粗しを行ってください。

■既存塗膜

既存塗膜の種類を確認し、不具合箇所を撤去したのち、研削機(ライナックスなど)やポリリッシャーによる目粗しを行ってください。

■※1 C.S.R.値とすべりの程度の関係

C.S.R.	すべりの程度
∞~1.0	きわめてすべらない
1.0以下~0.8	かなりすべらない
0.8以下~0.6	あまりすべらない
0.6以下~0.4	すこしすべる
0.4以下~0.2	かなりすべる
0.2以下	きわめてすべる

注/評価範囲は上限数値以下で、下限数値を含みません。

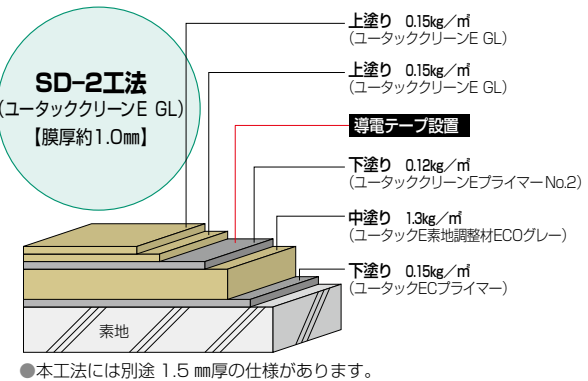
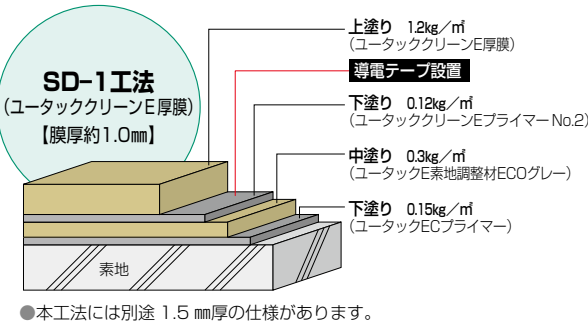
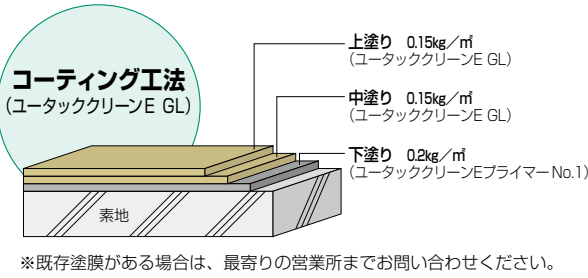
■※2 BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)とすべり程度の関係

濡れた路面すべり抵抗	すべり抵抗標準
65以上	良好：高速走行でも必要条件を満たすすべり事故を繰り返さないようなところ
55以上	概して満足：非常に悪い条件がなければ満足できる。
45以上	良好な環境条件においてのみ満足
45以下	著しくすべりやすい

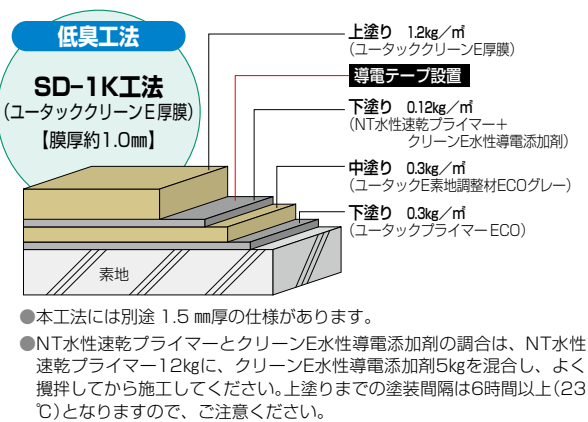
ユータッククリーンEシリーズ

工法

- 本工法以外および各種膜厚については、最寄りの営業所までお問い合わせください。
- 環境条件により白化、艶引けの可能性がります。
- 紫外線殺菌、滅菌灯により、変色します。

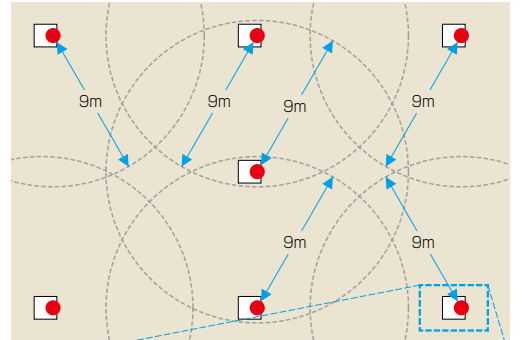


(※SD-1工法、SD-2工法の中塗りには「ユータックE-30N」もご使用いただけます。詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください。)

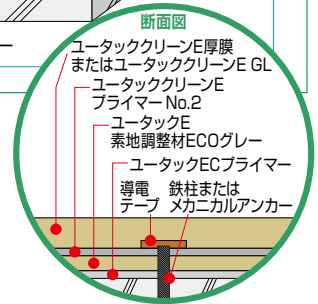
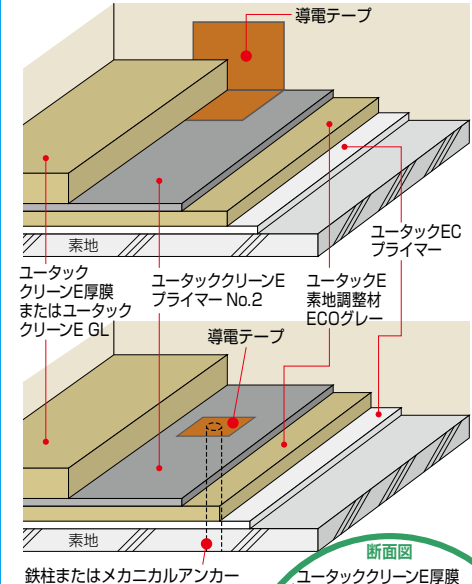


ユータッククリーンEシリーズのアース設置について

■ アース設置の基準 ● = 導電テープ



導電テープの設置例



ユータッククリーンEシリーズの施工上の注意

- ① 帯電防止塗りの床材の施工を行う際、もっとも重要なポイントは導電性プライマー（クリーンEプライマーNo.1、No.2）の施工です。プライマー塗装後、抵抗値が $1 \times 10^5 \Omega$ 以下であることを必ず確認後に次工程に移ってください。
- ② 下塗り、上塗りの過剰なシンナー希釈や専用シンナー以外で調合をした場合、規定の抵抗値が生じない場合があります。また、上塗りの過剰な塗布は規定の抵抗値が生じない場合がありますのでご注意ください。

ユータッククリーンEシリーズの電気特性について

●アース(接地)について

- ①ユータッククリーンEシリーズの接地方式は共用接地方式を前提としています。ノイズなどを考慮する場合は、事前に関係者と打ち合わせを行い、独立接地方式(コーティング工法は施工不可)をご採用ください。
- ②ユータッククリーンEシリーズは、鉄骨および鉄筋コンクリートを接地極としています(ボンディング※¹)。施工前に、指針※²漏洩抵抗測定を実施し1000Ω

以下であることを確認してください。
通常のコンクリートは、含水率4%程度で約200Ω・mの電気抵抗率となるため、指針※²より接地極としての利用が認められます。
鉄骨を接地極とする場合は、錆止め塗膜まで剥がし、金属素地面に導電テープを接地してください。ガス管、水道管、電話線や避雷針には接地できません。

コンセントなどのアース端子に結線する場合は、元請業者(元請負人)と協議し適切な技能者に作業依頼してください。
接地極が無い場合や電氣的に絶縁物下地の場合、元請業者(元請負人)と協議し施工前に適切なA~D種接地工事などを、別途行ってください。

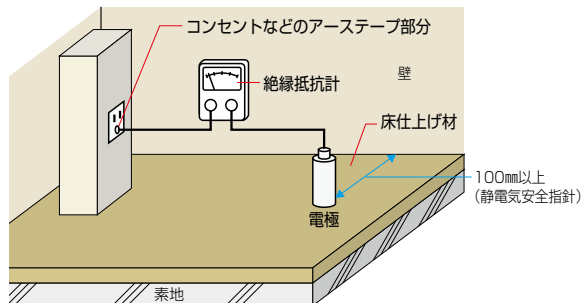
●ユータッククリーンEシリーズの測定方法

①漏洩抵抗測定

(静電気安全指針2007<独立行政法人 労働安全衛生総合研究所>)

図に示す通り、コンセントなどのアース端子と床面の漏洩抵抗を測定する方法です。床の端から電極の中心まで100mm以上離れた場所であることを確認してください。

■漏洩抵抗値

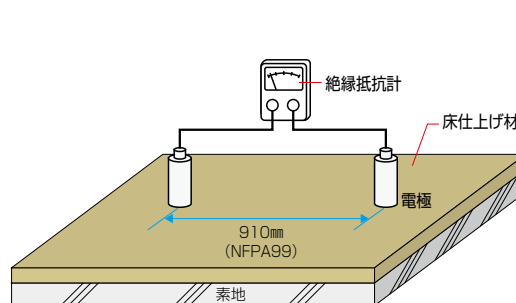


②表面抵抗測定

(ANSI/NFPA99 : 2005 <米国国家規格協会/全米防災協会>)

図に示す通り、ユータッククリーンEシリーズの表面抵抗を測定する方法です。電極の両端を3feet (約910mm)離してください。

■表面抵抗値



※1: ボンディングとは、アースの取れているコンクリート・鉄骨などに電氣的接続することで、直接アース端子へ接続することが困難または、非効率的な場合に用います。
※2: 静電気安全指針2007 (独立行政法人 労働安全衛生総合研究所)

●静電気防止対策について

- ①作業者の静電気防止対策については、静電気安全指針応用編追補「静電気帯電防止靴・作業服・手袋の使用基準」などをご参照いただき、適切にご使用ください。
- ②帯電防止床のメンテナンスとしてワックスをご使用になる場合は、市販の帯電防止用ワックスを塗布することを推奨いたします。クリーンルーム内でのワックスのご使用は、お客様のご判断にてお願いいたします。



耐薬品性能一覧表

○=7日間スポット試験／異常なし ◎=14日間スポット試験／異常なし ●=30日間スポット試験／異常なし

評価基準：塗膜に著しいフクレ・剥離・溶解・軟化が確認されないこと。変色については評価対象外。

※記載のない溶液や混合溶液は評価対象外となります。予め、現地にて見本板を浸漬させ、ご判断ください。

	ユータック クリーンE厚膜	ユータック クリーンE GL
酸類	塩酸(5%)	●
	硫酸(5%)	●
	硝酸(5%)	—
	リン酸(5%)	◎
	酢酸(5%)	◎
	蟻酸(5%)	◎
	クエン酸(5%)	◎
	乳酸(5%)	◎
アルカリ類	次亜塩素酸ソーダ(5%)	○
	飽和石灰水	●
	アンモニア水(5%)	●

	ユータック クリーンE厚膜	ユータック クリーンE GL
アルカリ類	水酸化ナトリウム(5%)	●
	塩化カルシウム(5%)	●
溶剤	ミネラルスピリット	●
その他	飽和食塩水	●
	水道水	●
	サラダオイル	●
	モーターオイル	●
	砂糖水(60%)	●
	ガンソリン	●
	重油	●

ユータックシリーズ取り扱い上の注意事項(よく読んでご使用ください)

■施工上の注意事項

- 新設、改修工事ともに、下地処理は必ず行ってください。本カタログのユータック素地調整仕様、改修下地調整仕様および注意事項やユータックシリーズ製品案内の注意事項を必ずお読みください。
- アースの設置は施工前に設置場所や方法を確認してください。
- 気温5℃以下、湿度80%以上の施工は避けてください。ユータッククリーンE GL、ユータッククリーンE厚膜などのエポキシ樹脂塗料は、5℃以下では極端に硬化が遅くなります。また、未乾燥状態で水分の影響を受ける艶引け、造膜不良、白化、付着不良、変色などの現象が発生し、仕上がりが悪くなるばかりか性能が発揮されませんので、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。
- 仕様書に書かれている可長時間、施工間隔、使用量は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより幅が生じることがあります。
- 施工現場の条件が上記条件を外れる場合、施工を取りやめるか、ジェットヒーター、送風機、スポットクーラー、除湿機などを用いて、施工現場、および材料の温湿度を適正状態に保つて下地処理を行ってください。
- 冬期に塗装終了後、塗膜乾燥工程で0℃以下になった場合、塗膜の造膜不良となり、ひび割れ、白化、付着不良などの現象が発生し、塗膜耐久性に影響します。このため、塗膜養生を考慮して早めに作業を終了させてください。
- 溶剤やモノマーなどの蒸発や樹脂の臭気などが近隣に影響を与える場合があります。あらかじめ元請けや施工主への説明と近隣住民への説明を行い、了解を得てください。
- 規定の使用量を守って施工されていないと、塗膜性能が発揮されない場合がありますので仕様書の使用量を守ってください。ユータッククリーンE関連塗料は、使用量が多すぎても少なすぎても性能を発揮しません。
- ユータッククリーンEプライマーNo.1またはNo.2を施工し、乾燥後、抵抗値が $1 \times 10^8 \Omega$ 以下であることを必ず確認し、次工程に移ってください。
- 塗料は混合前に電動攪拌機などで十分に攪拌してください。A液とB液、希釈剤は秤を使用して指定の割合で混合して、電動攪拌機などで混合攪拌してください。
- 塗料を小分けして使用する場合は、あらかじめ塗料缶の内容物を均一になるように攪拌してから小分けを行い、秤を用いて計量し塗料の混合を行ってください。
- 塗料の希釈は指定の希釈剤を必ずご使用ください。希釈剤の種類によっては硬化不良、帯電防止効果の低下、塗料性状、塗膜の乾燥速度、色相や艶等に影響が出る場合があります。
- 標準仕様以上の溶剤希釈や、塗装回数、使用量を増やすと帯電防止効果が十分に発揮できない場合があります。
- 改修工事の場合、既存塗膜の種類によっては溶剤などの影響により既存塗膜を剥離しリフティング(塗膜の手直し)やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認の上、塗装仕様を

- 決定してください。施工の際は、必ず下地処理を行ってください。
- プライマーは塗り残しのないように塗装してください。導電性が得られません。
- 吸い込みの多い下地の場合には、下塗りを増し塗りしてください。素地の状態によっては、下塗りで記載している以上の量を使用する場合があります。
- ユータッククリーンE GLは薄膜の塗料ですので、下地の吸い込みや、下地処理の違いにより、仕上りムラが発生する場合があります。
- 施工時の気温を確認し、施工可能な温度領域にあった塗料や硬化剤を選択し、適切な施工環境を確保してください。低温の場合、硬化反応が進まず塗膜硬度発現の低下など塗膜物性の低下が発生します。高温の場合は、可長時間が短くなり硬化も早くなるため、レベリング不良や泡抜け痕の発生など、仕上がりが異常が発生する場合があります。
- 塗料の種類により攪拌機の選定を行ってください。回転数が速かったり、羽の形状によっては、混合攪拌中に泡を巻き込み施工後泡が残ることがあります。また、攪拌の際は泡が立たないように注意して行ってください。攪拌時間が長すぎても泡の発生につながります。
- ユータッククリーンE厚膜は可長時間が短いので混合した後、直ちに施工面に塗面積に対して適切な量を流し、コテなどで塗り広げてください。缶中にて放置していますと発熱反応により缶中の温度が上昇し可長時間が短くなるばかりでなく、発煙や発火などの危険が生じる恐れがあります。
- 計量・混合攪拌する作業場所は、養生シートを敷き、材料がこぼれたらすぐに除去してください。缶の底に未混合の材料が付着し、施工面に付着した場合、その部分が硬化不良となります。
- 未混合のA液(主剤)やB液(硬化剤)が施工面にこぼれた場合、きれいに除去してください。その部分が硬化不良や剥離の原因となります。
- 一度混合した塗料は必ず可長時間内に使い切るようにしてください。可長時間を過ぎた塗料の使用は行わないでください。作業性、付着力の低下や仕上りなどが悪くなります。なお、可長時間は、材料温度と雰囲気温度に依存します。夏場は特に短くなりますのでご注意ください。
- 塗装間隔を一定以上経過した場合は、次工程の塗料の付着が低下します。塗装間隔を守って塗装してください。また塗装間隔が、仕様書に規定された時間以上経過した場合は、目粗しなどの処理やプライマーなどを塗装する必要があります。
- 本製品は貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また、開栓後はできるだけ早めにご使用ください。指定希釈剤以外の混入は絶対に避けてください。
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいます。あらかじめ元請けや施工主、近隣住民に説明し了解を得てください。自然換気ができない密室などの施工においては強制換気が必要です。適用法令に従い適切な換気装置の設定、作業主任者の選任、適切な保護具の着用などの対応を行ってください。

- 室内での使用は、特定化学物質障害予防規則の対象となります。同規則に従い作業主任者を選任するなどの法令遵守をお願いします。
- 導電性を確認する際は、良く乾燥させてから実施してください。
- 施工後、下地にクラック等が発生した場合は、帯電防止効果に影響を及ぼす場合があります。
- 取り扱い上の注意事項**
- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は、ABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い作業中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。エポキシ樹脂のため、かぶれを起こすことがあります。肌と直接触れないようにご注意ください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。また、塗装後は、揮発成分が部屋に滞留しないようにし、十分に乾燥させ、換気した後にご使用ください。
- 保管は必ずフタをし、降雨や夜露、直射日光の当たらない冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 本製品をお取り扱いの場合は、消防法や労働安全衛生法などの法令を遵守してご使用、保管を行ってください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル及び安全データシート(SDS)をご参照ください。

その他の注意事項(「塗装前」「塗料の仕様・混合に関する事項」「施工に関する注意事項」「養生について」「施工後の使用・維持管理に関する注意事項」)につきましては、「ユータックシリーズ」【製品案内】(総合カタログ)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
- 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
- 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
- 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
- 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
- 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

UTT-0223OD-[S]#5(#9) [2023年2月作成] 定価200円(税抜き)